

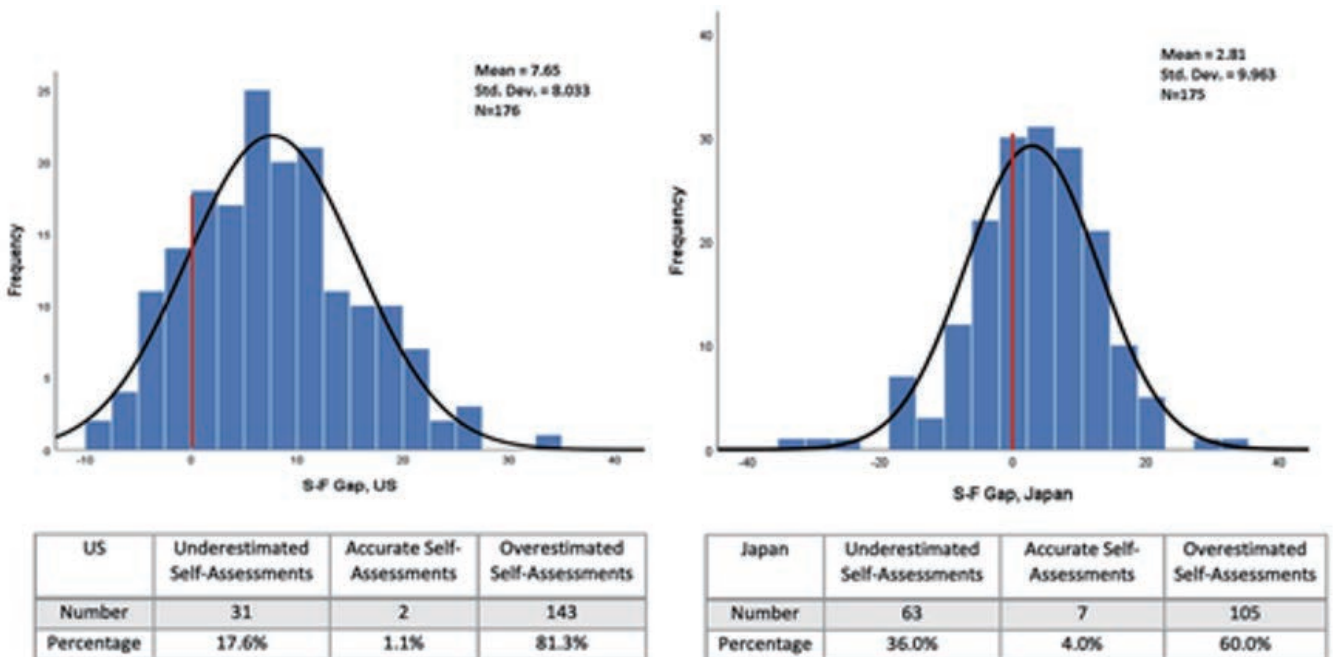
「歯冠修復学実習における支台歯形成自己評価能力の研究」

自己評価は学習目標を達成する過程において、学習者に自己の能力を把握させ、自主学習を促進させるための一つの手法です。歯科医師は生涯を通して学習する必要があることから、歯学教育においても自己評価能力を習得させることは重要であり、近年の膨大な学習量を鑑みるに、学生の技能に関する自己評価能力の育成は必須であると考えています。



(2019年日本歯科医学教育学会発表資料より)

■ アメリカと日本の自己評価能力の比較について



(Tabassian LJ, Nagasawa M et al. J Dent Educ. 2022)

〈他研究課題〉

- バーチャルリアリティ(VR)とオーグメンテッドリアリティ(AR)を用いた支台歯形成練習の効果
- バーチャルリアリティを活用した歯科技能教育の完全デジタル化
- 「技能教育」に対するアクティブラーニングを用いた教育プログラム